

東日本大震災津波伝承館 (いわて TSUNAMI メモリアル)

災害科学国際研究所
災害アーカイブ研究分野
柴山 明寛

shibayama@irides.tohoku.ac.jp

東日本大震災津波伝承館の展示制作等の教訓

【全般】

- ・施設内容の方向性を決める有識者会議は必須.

【展示制作】

- ・有識者は必須. 2名以上かつ異なる専門分野であること.
- ・地域や文化の知識, 展示経験等を持つ学芸員は必須.
- ・震災遺物は, 早期の保存活動が必須.
- ・震災関連資料の収集は, 震災デジタルアーカイブが有効.
その他, Internet ArchiveやNDLのWARPなども有効.

【運営】

- ・展示の解説員の事前トレーニングは, 数ヶ月間必要.
- ・展示されている内容の2倍以上の知識が解説員には必要.

東日本大震災津波伝承館の展示制作等の教訓

【その他の注意点等】

- ・奇跡的な物語ほど危機一髪なことが多く、取扱には慎重な議論が必要.
- ・法律違反や権限を越えた行為などは、取扱には慎重な議論が必要(※本施設は、震災後に法改正やガイドライン等が改正されたものののみを取り扱っている).
- ・震災関連資料に記載されている参考文献は、原典でないことが多く、注意が必要。(※バタバタな時に作成された記録誌などは、孫引きが多い)
- ・展示内容の多言語化は、直訳ではなく、わかりやすい表現に変える. 直訳にする場合は、ネイティブチェックだけでは不十分. 専門知識を持った翻訳業者に依頼する.
- ・偏らない展示を心がけること(自助・共助・公助, 市町村, 防災関係機関などのバランス)

東日本大震災津波伝承館の展示制作等の教訓

【その他の注意点等】

- ・様々な配慮が必要なこと(実際の津波映像の閲覧制限や文言(死者→犠牲者, 人→名)など)
- ・展示パネルごとに教訓が含まれるようにし, 途中でも何かしらの教訓を持ち帰られるようにする.
- ・建物名称, 場所などの情報は, 震災当時と異なる場合もあることから十分に気をつける(間違った認識により津波の到来位置などを間違わないようにする)

東日本大震災津波伝承館 (いわて TSUNAMI メモリアル)



東日本大震災津波伝承館からのメッセージ

命を守り， 海と大地と共に生きる

～二度と東日本大震災津波の悲しみをくり返さないために～

ミッション・ステートメント

日本列島は、地球上でも特に自然災害の危険性が高い宿命の地であり、この地に生きる私たちは、長年にわたり自然災害への対応力を高めてきました。

しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災津波により、私たちは多くの尊い命を失いました。

この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波伝承館は、先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指します。

そして、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信していきます。

<https://iwate-tsunami-memorial.jp/>

復興祈念公園と伝承施設と道の駅



国営追悼・祈念施設、道の駅「高田松原」及び東日本大震災津波伝承館



国営追悼・祈念施設、道の駅「高田松原」及び東日本大震災津波伝承館



国営追悼・祈念施設、道の駅「高田松原」及び東日本大震災津波伝承館

国営追悼・祈念施設：国（東北地方整備局）
道の駅「高田松原」：陸前高田市
東日本大震災伝承館：岩手県

復興祈念公園と伝承施設と道の駅



東日本大震災津波伝承施設の概要

【施設概要】

オープン: 令和元年9月22日

展示面積: 1,155m²

構造: 鉄筋コンクリート造

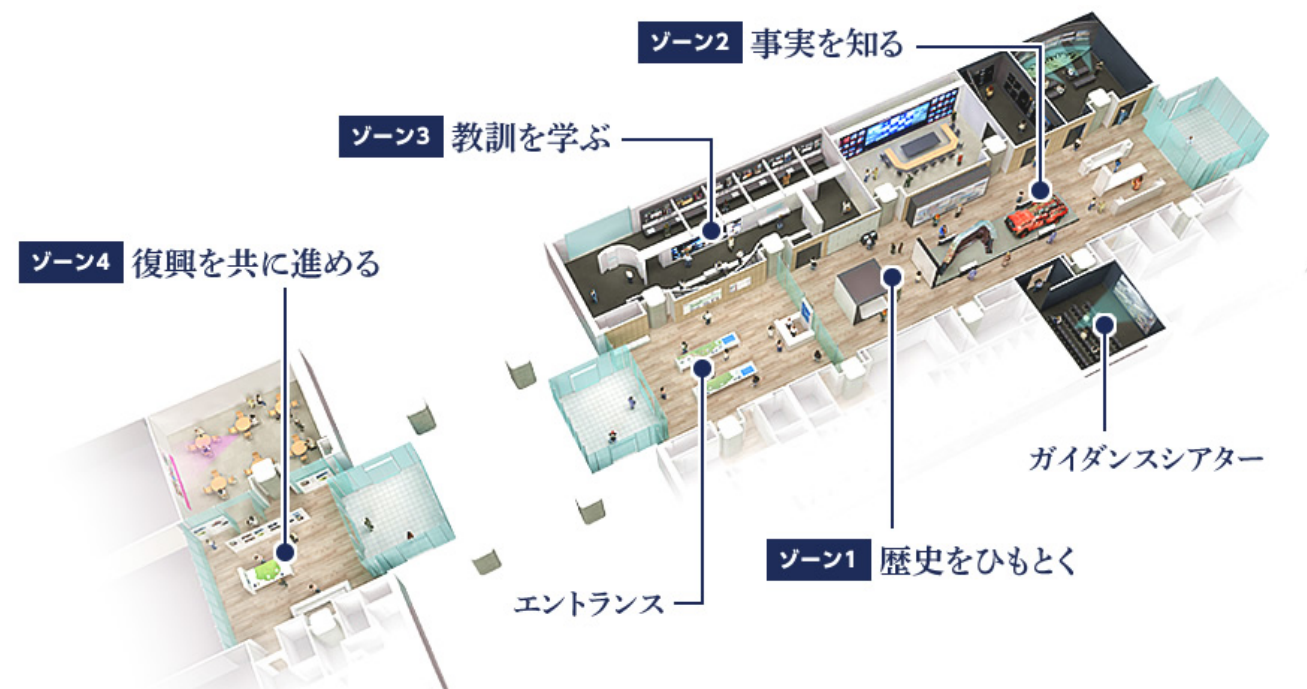
【来場者】

9月27日(5日目): 1万人

10月3日(12日目): 2万人

平日: 約1400人来場

休日: 約2000人来場



The four photographs provide a comprehensive view of the Great East Japan Earthquake Museum in Sendai. The top-left image shows a large, dark, angular structure with a projection of the Earth, labeled '約3億年前' (About 300 million years ago). The top-right image shows a wall display titled '1-2 くり返す津波の歴史' (History of repeating tsunamis), featuring a map and various informational panels. The bottom-left image shows a large, rusted metal structure, likely a remnant of a building destroyed by the tsunami, with a small informational panel in front of it. The bottom-right image shows a large wall display titled '東日本大震災津波の被害の概要' (Overview of the damage caused by the Great East Japan Earthquake tsunami), featuring various statistics, charts, and maps, including a large pie chart showing the distribution of damage.



東日本大震災津波伝承施設の概要



東日本大震災津波伝承館が完成するまでの変遷

年月	内容
2011.8.11	「岩手県東日本大震災津波復興計画」策定
2012.3	国土交通省が「震災復興祈念公園の基本的あり方」を整理
2012.7	高田松原地区震災復興祈念公園構想会議
2013.9	岩手県における復興祈念公園基本構想検討調査有識者委員会
2014.10.31	「東日本大震災からの復興の象徴となる国営追悼・祈念施設（仮称）の設置について」閣議決定
2015.8～	高田松原津波復興祈念公園有識者委員会
2015.8～	岩手県震災津波関連資料収集活用有識者会議
2015.9～	高田松原津波復興祈念公園震災津波伝承施設検討委員会
2016.8～	岩手県震災アーカイブシステム構築に係る有識者会議
2017.3.30	「いわて震災津波アーカイブ～希望～」の公開
2018.3.26	正式名称を「東日本大震災津波伝承館」と決定、公表
2018.8.23	愛称を「いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル」と決定、公表
2019.3.25	「東日本大震災津波伝承館条例」制定
2019.9.22	「東日本大震災津波伝承館」開館



高田松原津波復興祈念公園の有識者委員会

高田松原津波復興祈念公園有識者委員会

■高田松原津波復興祈念公園(以下、公園)の計画・設計の検討
(各ワーキンググループの検討状況の報告)

【開催】: 年2回程度

【事務局】: ◎岩手県県土整備部都市計画課、
国土交通省東北地方整備局、陸前高田市

アドバイザー

■公園の計画・設計の検討に関わる
専門的意見等

空間デザイン 検討委員会

■公園における空間デザイン(基本設計)の検討
(道の駅・伝承に係る調整を含む)

【開催】: 年3回程度

【事務局】: ◎東北国営公園事務所、三陸国道事務所、岩手県、陸前高田市

協働体制 検討WG(仮称)

■公園における市民等が協働した管理・運営体制等の検討

【開催】: 年4回程度

【事務局】: ◎岩手県県土整備部都市計画課・大船渡土木センター、陸前高田市

ワークショップ : 年2~3回程度

震災津波伝承施設 検討委員会

■公園内の震災伝承施設に必要な機能、展示内容等の検討

【開催】: 年3回程度

【事務局】: ◎岩手県復興局まちづくり再生課、岩手県県土整備部都市計画課、
国土交通省東北地方整備局、陸前高田市

震災津波関連資料収集活用有識者会議

■震災津波関係資料の収集整理保存活用方策の検討

【開催】: 年4回程度

【事務局】: ◎岩手県復興局復興推進課

東日本大震災伝承館関係の委員会

○東日本大震災津波伝承館運営協議会(2019年9月設置)

会長:南正昭(岩手大学)

副会長:柴山明寛(東北大学)

委員:伊藤雅人(マルゴト陸前高田), 軍司悟(岩手県教育委員会), 越野修三(岩手大学), 五味壮平(岩手大学), 金野靖彦(陸前高田市観光物産協会), 千國亮介(岩手県立大学), 千田貴浩(岩手県立博物館副館長), 平井省三(さんりく基金三陸DMOセンター), 松村敦子((元)赤崎中学校校長)

○高田松原津波復興祈念公園有識者懇談会(2018年3月設置)

座長:中井検裕(東京工業大学)

副会長:涌井史郎(東京都市大学)

委員:篠沢健太(工学院大学), 広田純一(岩手大学), 南正昭(岩手大学), 戸羽太(陸前高田市市長), 平野勝也(東北大学), 五味壮平(岩手大学), 柴山明寛(東北大学)

ご静聴ありがとうございました。
shibayama@irides.tohoku.ac.jp